

Progress

第3学年 進路だより 第24号
令和6年 7月19日（金）発行
柏市立土中学校進路指導部

◆夏休みに向けて

3ヶ月半あった1学期も終わり、明日からいよいよ長い長い夏休みです。「夏を制する者が受験を制す。」とされています。また、この3年生の夏休みは、「受験の天王山」とも言われ、まとまった学習時間がとれる最大にして最後のチャンスです。だからこそ、ここで苦手分野の克服や1、2年生の内容の復習をし、受験に必要な基礎学力を完成させることが非常に重要になります。後悔の無い夏休みを過ごしてもらうために、夏休みにやってほしいことを3つに絞って書いていきたいと思います。

①規則正しい生活を送り、生活リズムを確立する。

夏休みは学校がないため、何かと生活リズムが崩れがちです。寝る時間を遅くするのは簡単ですが、元に戻すのは難しいです。また、試験開始時間が早い高校では、土中の1時間目の開始時間（8時45分）くらいです。そして脳が活発に動くには、朝起床してから2～3時間はかかると言われています。人間は記憶を残すために睡眠が大切でもあるので、これらを踏まえて毎日の就寝時間と起床時間を決めて、2学期までに生活リズムを整えるように心がけてください。

②夏休みの学習計画をしっかりと立て、苦手分野の克服と1、2年生の復習を終わらせる。

先ほど書いたように、夏休みはまとまった学習時間が取れるラストチャンスです。入試の出題範囲は6割～7割が1、2年生の学習内容となっています。2学期には3年生の学習内容と入試問題の演習に取りかかれるように、1、2年生の基礎的な内容の学習を全て終わらせてください。また、1学期までの定期テストや実力テストの成績を自分なりに分析して、苦手教科を中心に勉強すると良いと思います。そして、本当に学習の成果が出てくるのは、本格的な勉強を始めてから、3ヶ月～6ヶ月くらい後です。つまり、夏休みの頑張りが受験本番に表れることとなります。今の自分の頑張りがすぐ実を結ばなくても、諦めずに継続して努力してほしいです。

③自分が受けようと思っている高校の説明会に参加する。

先週の学年集会で言ったように、公立1校、私立1校を最低でも見学し、レポートを提出してもらいます。この夏休みの期間は多くの高校が説明会や体験入学等を開催する時期で、沢山参加できるチャンスです。是非多くの高校を見学し比較して、自分が本当に進学したい高校を見つけたいと思います。また、実際に高校に行くことで、在校生や学校の雰囲気を感じることができたり、受験勉強へのモチベーションを保つことにも繋がります。積極的にこの夏休みを利用し、後悔の無い進路選択をしてほしいと思います。

◆令和7年度千葉県公立高校入学者選抜の学校設定検査の内容が発表されました。

7月10（水）に、千葉県教育委員会のHPで各公立高校の学校設定検査の内容が発表されました。面接、自己表現、作文等の内容が実施される高校が多い傾向です。つまり、ほとんどの高校で、志望理由が明確であり、基本的な生活習慣が身に付いていて、学習意欲がある生徒を望んでいます。

●推薦制度とは（単願／併願）

★推薦制度

- ・推薦制度を利用する受験は、合格の可能性が高くなります。
- ・推薦制度を利用する場合は、高校側が提示する基準があります。基準を超えて、学力面・人物面等で推薦に値する力が必要とされます。
- ・私立校への推薦を希望する場合は推薦願の書類を提出してもらいます。希望書が提出されてから、基本的に中学校が高校へ相談に行きます。高校側が推薦受験できるかどうかを判断します。その結果を本人にお知らせします。従って、推薦希望書を一度担任に提出した場合、取り消しができません。ご家庭で十分に話し合ってから提出してください。

【学校推薦について】

中学校から高等学校等へ推薦によって進学していく方法です。この制度を利用するには、いくつかの条件を満たしていなければなりません。条件として「(1) 人物的に保証できること。(2) その学校の学力推薦基準に達していること。(3) 単願推薦の場合、合格したら必ずその学校に入学すること。」などがあります。(推薦基準は各学校で異なります。) この制度を利用すれば、合格の可能性が有利に扱われます。しかし、合格が保証されているわけではありません。

○単願（自己）推薦について

私立高校においては、単願（その学校が第一志望で合格したら必ず入学する）と併願（他の高校を第一志望とし、その学校を第二志望以下と考えて受験する）では、合否決定の基準に差をつけているところが多くあり、単願を優先させます。

○併願推薦・一般受験優遇措置について

併願（公立高校や他の私立高校を第一志望としその学校を第二志望以下と考えて受験する）では、高校によって併願推薦受験と一般受験での優遇措置とがあります。単願推薦よりも成績等の基準が高いです。一般受験での優遇措置は、当日の点数のボーダーラインが低く設定され、合格の可能性が高くなるという点です。

その他補足事項

- ・私立高校の合否決定方法は学校によって異なります。
- ・面接試験、作文のある学校は、それを合否決定の大きな参考資料としています。（どんなことを聞かれるのか、書くのか、についても調べておきましょう）
- ・併願の場合、延納を認める学校が多く、一時金（=延納金）を納入する高校もあります。あらかじめ期日や書類などよく調べておく必要があります。（期日を1分1秒でも遅れた場合は、手続きが不可になってしまうので、手続きの最終日は確実に押さえておきましょう。）

○中央学院高校〔A選抜（進学コースの単願推薦）の例〕

◇1学期または2学期 5科17以上 優遇加点最大2p 3年間皆勤・精勤（欠席1日または遅刻早退3回まで） 各種検定3級以上 剣道二段・書道二段以上
部活動：3年間所属・部長 副部長・県大会以上出場（1,2年次可）
生徒会役員・ボランティア活動参加・・・など

※上記は昨年度の基準です。各私立高校のHPで調べてください。